

### 「デザイン白書 2024」を公開 理解浸透と活用促進へ 地域や企業、行政等の取り組みを紹介 デザインの意義や効果を発信

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長: 藪田健二、以下 MRI)は、公益財団法人日本デザイン振興会(以下 日本デザイン振興会)から本日公開された「デザイン白書 2024(White Paper on Design, 2024)」の制作に協力しています<sup>1</sup>。デザイン白書 2024 は、2023年10月に日本で開催された世界デザイン会議の内容に加え、国内の地域や企業、行政等のデザインに関する取り組み、意義や効果を網羅的に取りまとめたものです。

#### 1. 背景

急速に変化する社会・経済状況において、本質的な価値を見出し価値を最大化させるデザインの役割に注目が集まる中、経済産業省デザイン政策室は2023年に「これからのデザイン政策を考える研究会」を開催しました。

デザイン先進国といわれる国では、国や自治体の政策、企業経営にデザインを積極的に導入・活用しており、デザイン活用の司令塔である「デザインカウンスル」が、調査研究レポート等を通じて社会にデザインを浸透させています。一方、日本では、デザインに関する人々の理解や、企業によるデザインへの投資や活用を促すナレッジの蓄積や共有が十分とは言えない状況にあります。上記研究会では、日本のデザイン振興の大きな課題として、「国内の最新のデザイン動向を網羅的に取りまとめ、デザイン活用の効果等を継続的に調査し、戦略的に社会に対して発信する機能」の不在が指摘されました。

#### 2. 特徴

「デザイン白書」はこの課題に対応するため、株式会社三菱総合研究所 DESIGN×CREATIVE TEAM、株式会社アクシス、一般社団法人デザインシップ、公益財団法人日本デザイン振興会、その他200名を超える有識者の方々との協力のもと発行されました。日本の地域や企業、行政等のデザインに関する取り組みや動向を網羅的に把握し、定量的・定性的な情報により、デザインに投資することの意義や効果を多様な視点から明らかにし、そのナレッジを集約・蓄積・共有することを目的としています。本白書を通して、WDO 世界デザイン会議東京 2023の様子から拡張するデザインの現在地を知り、その意義や効果を地域や企業、行政の豊富な事例で確認することができます。本白書は、日本におけるデザインの動向とその効果を広く社会に発信するメディアであり、多様なデザイン領域で活躍する人や組織のより一層の連携を促し、日本のデザインの発展に寄与します。

#### 3. 今後の予定

今後は、日本デザイン振興会を中心に、デザイン白書 2024 の周知活動などを通して、社会全体のデザインに関する理解浸透やデザイン活用を推進していく予定です。三菱総合研究所 DESIGN×CREATIVE TEAM も引き続き、経済産業省デザイン政策室や日本デザイン振興会などとともに、日本のデザイン振興を推進し、地域経済の活性化や国際競争力の強化、豊かな地域社会や日本独自の文化の形成に向けた活動に取り組めます。

<sup>1</sup> 株式会社三菱総合研究所は、本白書の基になる報告書『JAPAN DESIGN REPORT』を経済産業省デザイン政策室からの委託を受けて制作しました。

参考

デザイン白書 2024(White Paper on Design, 2024)

監修： 経済産業省デザイン政策室

制作・編集： 株式会社三菱総合研究所 DESIGN ×CREATIVE TEAM

山越理央、渡邊絢音、田丸文菜、町田匠人、村上貴大、青柳雅大

株式会社アクシス 石橋勝利、戸村匡史、鳥嶋夏歩、長谷川智祥

協力： 一般社団法人デザインシップ 小松尚平

協力・発行： 公益財団法人日本デザイン振興会

制作年月日： 2024 年 3 月 29 日

URL: <https://www.jidp.or.jp/2024/06/04/wpd2024>

【目次と概要 (350 頁)】

1. 世界×デザイン :WDO 世界デザイン会議東京 2023 の議論・発表内容を掲載



2. 地域×デザイン :47 都道府県ごとに、デザイン活動の課題や主な事例、今後の展望を掲載





## 6. 資料 : デザインに関する統計情報や行政施策、デザイン関連イベント等の一覧を掲載

### 3. デザイン事業所の都道府県分布

業界別統計資料「デザイン」に関する調査結果は、2023年10月1日現在の調査結果に基づき、大規模には1,329事業所、其次大規模を含むで調査された事業所である。

また、本調査資料「デザイン」について、従来からの調査結果、および本調査結果、両者を比較し、デザイン事業所の数が増加していることが確認された。また、デザイン事業所の数が増加していることが確認された。また、デザイン事業所の数が増加していることが確認された。

#### (5) 都道府県別事業所数

都道府県	事業所数(件)	従来事業所数(件)
北海道	264	226
青森県	16	7
岩手県	40	100
宮城県	102	454
秋田県	46	122
山形県	44	129
福島県	44	200
茨城県	70	247
栃木県	52	141
群馬県	21	201
埼玉県	290	625
千葉県	187	537
東京都	4,636	10,413
神奈川県	536	1,033
新潟県	136	349
富山県	76	165
石川県	113	416
福井県	48	181
山梨県	40	95
長野県	137	456
岐阜県	126	326
静岡県	136	514
愛知県	528	2,423



### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

#### 【内容に関するお問い合わせ】

DESIGN×CREATIVE TEAM デザイン白書 2024 制作チーム  
メール: japan\_design\_report\_mri@ml.mri.co.jp

#### 【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部  
メール: media@mri.co.jp